

着任のご挨拶

つながり・チャレンジする 子どもたち・学校～学ぶ・暮らす・支え合う～

令和7年4月1日付で、尾崎伸次校長の後任として着任いたしました千種朋子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本校には、平成24年から7年間勤務させていただきましたので、再びご縁をいただき八幡支援学校の教育に携われることを大変嬉しく思うとともに、身の引き締まる思いでいます。

16年目を迎える八幡支援学校は、小中高等部の新入生55名を迎え、小学部25名、中学部40名、高等部（普通科/福祉総合科）75名の計140名の児童生徒でスタートします。

これまで本校は、学校教育目標の「つながり」と「チャレンジする」言葉のとおり、平成22年の開校時からスクールパートナーである京都八幡高等学校との交流及び共同学習を中心に、地域社会とつながる教育活動を積極的に実施してまいりました。これもひとえに、地域の皆様、関係の皆様に多方面にわたってお力添えをいただいたおかげです。

交流及び共同学習や地域との連携の貴重な体験・経験をととして日々の教育活動で身に付けた力を確固たるものにしていくことが、子どもたちが社会参加し、自分らしく地域社会で生きる力、自己の力を発揮していくことになると考えております。また、昨年度より始動した「八幡図書大作戦」では、伊藤忠記念財団様の子ども文庫助成を受けました。多様な読書のニーズに応じた環境整備を実施し、子どもたちの視点に立った読書活動の推進に努めてまいります。これらの教育活動はともに、子どもたちが人生をより深く生きる力を身に付けていく上で大切となりますので、充実を図っていきたいと考えています。

これからの社会を展望する上で、教育の果たす役割はますます重要であります。安心・安全と人権尊重を基盤とし、教育活動全体を通じた個々の子どもたちのウェルビーイング*の向上を目指し、これからも教職員が一丸となって、子どもたち個々の可能性を最大限に引き出す教育にチャレンジしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には引き続きご理解とご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

このホームページでは、日々の生き生きと活動する子どもたちの姿や本校の様子を発信してまいります。どうぞご覧いただきますよう併せてお願い申し上げます。

*身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む概念（令和5年6月、教育振興基本計画より）

京都府立八幡支援学校

校長 千種 朋子